

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	優良水道工事業者表彰		部課コード	2402	予算事業科目		事	区分	継続
所管部署	担当部局	水道局	部長名(2次評価者)	橋詰 辰男		個別事務	0	-	
	担当部署	総務課	所属長名(1次評価者)	澤田 和彦			-	-	
	電話番号	088-821-3208	E-mail	kc-240200@city.kochi.lg.jp			-	-	

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	水道事業会計	目標	05	E その他の行政経費及び一般行政経費	政策基本方針 (その他の行政経費及び一般行政経費)
款	01 水道事業費用	政策	00	その他の行政経費及び一般行政経費	
項	01 営業費用	施策	00	その他の行政経費及び一般行政経費	
目	07 総係費	区分	00	その他の行政経費及び一般行政経費	

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市優良水道工事業者感謝状贈呈要綱	
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	総務課契約係において、契約事務をおこなった水道施設工事業及び管工事業を過去2箇年間に10件以上、又は請負金額5千万円以上を完成した者及び給水装置工事等を過去2箇年間に50件以上完成した者	
意図	どのような状態にしていくのか	業者の施工意欲と技術の向上発展を図り、もって水道工事の品質の確保に資する。	
手段	事業実施体制等	事務局+選考委員会	事業開始年度 昭和58年 事業終了年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	●対象者のうち成績優秀者の選定 ●成績優秀者の中から感謝状贈呈者の選考、決定 ●感謝状贈呈者に決定通知及び式典出席案内 ●感謝状筆耕 ●水道週間行事の中で感謝状授与	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	水道施設工事業及び管工事業	2箇年間に10件以上又は請負金額5千万円以上完成した者で成績優良な者
	B	給水装置工事	2箇年間に50件以上完成した者で成績優良な者
	C		

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	水道施設工事業及び管工事業				2		
		実績	1	1	1			
	B	給水装置工事				2		
		実績	1	1	1			
C								
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	35	35	35	70		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	35	35	35		70
	翌年度への繰越額 (千円)	0	0	0	0			
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	75	75	75	75		
		正規職員 (千円)	75	75	75	75		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.01	0.01	0.01	0.01		
		正規職員 (人)	0.01	0.01	0.01	0.01		
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)		110	110	110	145			
市民1人当たりコスト (円)		0	0	0				
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714				
					総コスト/年度末人口			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 13 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	2.5	本事業は、本市水道施設等の整備における品質向上を通して、円滑な水道事業の展開や「災害に強いまちづくり」等に寄与することとなる。ただし、対象が水道関係工事業者に限定され、直接的な市民ニーズはほとんどない。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	D		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	本事業の実施により、工事の施工時に受注業者の品質向上意欲が高まり、優良な工事が増えることによって、事業の効果が十分に達成されている。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	4.0	対象工事の選定や審査が主たる業務であり、行政主体が望ましい。また、必要最小限の経費で十分な効果を得ており、これ以上のコスト削減は困難である。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	4.0	事業は公平に実施されている。ただし、上位にランクされる業者は例年同じ業者が見受けられるので、要綱により過去3年間に贈呈があった者は対象外としている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合 点	15.5	総合 評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input checked="" type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 24 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	1次評価のとおり
<input checked="" type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--